

本部構内

Main Campus



1 時計台

1925(大正14)年竣工。総長室や大ホールが置かれ、大学のシンボリック建物となった。1997年の創立百周年を記念して、2003年12月に「百周年時計台記念館」に改装された。かつて背面にあった法経第一教室は京大で最大の教室で、滝川事件の際の学生大会や、大学紛争時の団交の場としても使われた。なお、正面のクスノキは、1934年の室戸台風で折れた初代に代わり植えられた二代目。百周年時計台記念館の1階には歴史展示室がある。

歴史展示室

歴史展示室では、常設展「京都大学の歴史」を開催している。常設展は、通史展示を中心として、「京都大学の創立」から、「近年の京都大学」までの八つのテーマを立て、主に大学文書館が所蔵する文書、写真に実物資料を組み合わせ展示し、それぞれの時代像を表している。そのほか、キャンパスの模型や戦前の学生下宿の再現、CGなどの映像資料を展示して、多様な観点から京都大学の歴史を見ることができる。

【休館日】 毎月第1月曜日及び年末年始
(第1月曜日が祝日の場合、第2月曜日)
【開館時間】 9時30分～17時00分
【入場料】 無料



2 総合博物館

2001(平成13)年にオープンした、日本最大規模の大学博物館。京大が開学以来100年以上にわたって収集してきた貴重な学術標本資料260万点を収蔵・展示。
【休館日】 月・火曜日及び年末年始
【開館時間】 9時30分～16時30分(入館は16時まで)
【観覧料】 一般400円、大・高校生300円、中・小学生200円(団体割引あり)



吉田南キャンパス

3 文学部陳列館

1914(大正3)年竣工。歴史学・考古学・地理学・古美術関係など、文学部の貴重な収集資料を収蔵する建物としてつくられた。出入口のベディメント、上部の楕円形の小窓、棟上の小塔など、キャンパス内でも際だって華やかな建築といえる。

4 尊攘堂

1903(明治36)年竣工。長州藩出身の政治家家川弥二郎の死後、京大に寄贈された吉田松陰の遺墨類を納めるために建てられた施設。

5 旧防災研究所事務室

1916(大正5)年竣工。旧石油化学教室本館⑪の二階部分と似た意匠の建築。現在は、留学生ラウンジとして使用している。

6 工学部土木工学教室本館

1917(大正6)年竣工。大正期の京大の赤煉瓦建築の代表。白い花崗岩の装飾と大きな窓が特徴。

7 工学部建築学教室本館

1922(大正11)年竣工。京大最初の鉄筋コンクリート造りで、瓦屋根を持たない建築。小豆色のタイル、正面の湾曲した壁面、頂上部の帯状の装飾などが特徴。

8 法経済学部本館

1933(昭和8)年竣工。最初西面のみ竣工し、以後1953年にかけて順次増築された。入り口のまわりには特徴的な意匠が見られる。

9 本部構内正門

1893(明治26)年竣工。竣工当時の門柱は、レンガと石を交互に積み上げていた。1979年に復元工事が行われた。

10 総合人間学部正門・門衛所

1897(明治30)年竣工。もともと現在の本部キャンパスにあった第三高等学校(通称三高)が、京大の創立とともに南側に移転した際につくられた。三高は自由の学風で知られ、ノーベル賞受賞者をはじめ多くの著名人を輩出した。

11 旧石油化学教室本館

1889(明治22)年竣工。内側の一階建ての部分は、第三高等学校が大阪から移転した際に物理学実験場として建てられたもので、京大キャンパスに現存する最も古い建物。ノーベル賞受賞者の湯川秀樹・朝永振一郎・福井謙一の各氏もここで研究した、別名「ノーベル賞の館」。



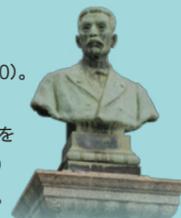
五山の送り火(大文字)

凡例

- インフォメーションセンター
- 食堂
- カフェ
- 生協店舗・売店
- 京大ショップ/ミュージアムショップ
- バス停

構内の胸像・石碑

A きのした ひろし
木下廣次 胸像
元総長(1851～1910)。第一高等学校校長、文部省専門学務局長を経て、初代総長となり京大の基礎を築いた。



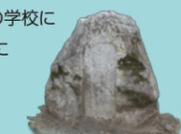
B あらき とらきぶろう
荒木寅三郎 胸像
元総長(1866～1942)。専門は医化学。1915(大正4)年総長に就任。在職14年は歴代総長で最長。



C しんじょうしんぞう
新城新蔵 胸像
元総長(1873～1938)。専門は宇宙物理学。1929(昭和4)年総長に就任。不況や思想弾圧など、厳しい時代の大学の運営にあたった。



D
第三高等学校予科解散石碑
1894(明治27)年設置。当時この地にあった第三高等学校が大学への進学課程を一時廃止した際、生徒が他の学校に分属させられることになり、その記念につくられた。



E おだよろず
織田萬 胸像
元法学部教授(1868～1945)。専門は行政法。国際的にも活躍し、国際司法裁判所の判事も務めた。



F ふくい けんいち
福井謙一 ノーベル化学賞受賞記念石碑
1981(昭和56)年、工学部教授福井謙一が、日本で初めてのノーベル化学賞を受賞したことを記念し、設置された。



編集・発行：
京都大学 渉外部 広報・社会連携推進室
〒606-8501 京都市左区吉田本町
URL <http://www.kyoto-u.ac.jp/>

2014年3月発行